

特別回報

外航組合員各位

2021 保険年度の国際 P&I グループ再保険プログラムについて

2021 保険年度の国際 P&I グループ (IG) 再保険プログラムが決定しましたのでご案内申し上げます。

1. 再保険スキーム

2021 保険年度の IG 再保険プログラムのスキームは以下のとおりです (2020 保険年度から変更はありません)。

- クラブ保有額 : 1 千万ドル
- グループ保有額 : 1 億ドル
- General Excess Loss Cover : 20 億ドル (1 億ドルを超える 20 億ドル部分)
- Collective Overspill Cover : 10 億ドル (21 億ドルを超える 10 億ドル部分)

2. てん補限度額

以下の損害に対する 2021 保険年度のてん補限度額は以下のとおりです (2020 保険年度から変更はありません)。

- 油濁損害 : 10 億ドル
- 船客の単体損害 : 20 億ドル
- 船客と船員との複合損害 : 30 億ドル

スキームの詳細については、添付の表をご参照ください。

3. 船種別 IG 再保険料率

船種ごとの再保険料負担の公平性を確保するため、IG は現行の船種カテゴリーの見直しを行い、フルコンテナ船 (FCC) が現在 IG クラブの加入トン数の約 20% を占めていること、また近年 FCC に関する大型クレームが多く発生していることに注目しました。

十分な検討の結果、IG は以下の結論に達しました。

1. **FCC を Dry Cargo Vessels から分離し、5 つ目のカテゴリーとして新設し、保険成績を再保険料率に反映させる。**
2. **Persistent Oil Tankers については、改善した保険成績を再保険料率に反映させる。**

以上により、2021 保険年度の船種別 IG 再保険料率は以下のとおりとなります。

船種カテゴリー	2021 保険年度 再保険料率 (US\$/GT)	対前年比増減率 (%)
Persistent Oil Tankers	0.5625	-2.1
Clean Tankers	0.2619	+1.4
Dry Cargo Vessels	0.4028	+1.4
Fully Cellular Containerships	0.4249	+7.0
Passenger Vessels	3.2624	+1.4

4. 更改経緯

IG 再保険プログラムの主要部分である General Excess Loss (超過額再保険) プログラム (1st Layer ~3rd Layer、すなわち 1 億ドルを超える 20 億ドルの部分) は、2020 年 2 月に 2 年契約を結んでいたため、本更改の対象外でした。本更改では、主に契約満了を迎える Collective Overspill プログラム (21 億ドルを超える 10 億ドルの部分) に対して焦点が当てられました。

IG の自家保険会社である Hydra が、引き続き再保険スキームの主要部分を保有することにより、IG を支えています。また Private Placement (商業保険者が引き受ける定額の再保険) を活用するという IG の戦略によって、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により再保険市場が不安定な年であっても、組合員の皆様にご負担いただく再保険料は引き続き安定性を確保できます。

こうしたことから、IG 再保険料率は平均して前年比 1.4%の増加に抑えることができ、IG 再保険プログラムは順調な更改結果となりました。

以上

添付：2021 保険年度 IG 再保険プログラム

IG再保険プログラム（2021保険年度）

<その他クレーム>								約87億5千万ドル	
Pool (Overspill) (約56億5千万ドル)								31億ドル	4
Collective Overspill Layer (10億ドル) Excess of underlying				<船客+船員クレーム>				30億ドル	
								21億ドル	
3rd Layer (6億ドル) Excess of underlying				<船客クレーム>				20億ドル	
								15億ドル	
2nd Layer (7.5億ドル) Excess of underlying				<油濁クレーム>				10億ドル	3
								7.5億ドル	
*** 10% share	** 10% share	* 10% share	1st Layer (6.5億ドル) 70% share with annual aggregate deductible of \$100m being covered by Hydra	*** 10% share	** 10% share	* 10% share	1st Layer (6.5億ドル) 70% share with annual aggregate deductible of \$100m being covered by Hydra	1億ドル	
7.5% クレーム提起クラブ保有			Upper Pool (5千万ドル-1億ドル covered Hydra)					5千万ドル	2
Lower Pool (3千万ドル-5千万ドル covered Hydra)								3千万ドル	
Lower Pool (1千万ドル-3千万ドル)								1千万ドル	
クラブ保有								0	1

- 1千万ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 1千万ドルから1億ドルまで
プールと称し、IG加盟13クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち3千万ドルから1億ドルまではHydraへ出再。
- 1億ドルから21億ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(*、**および***は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定期再保険)
1st Layerから3rd Layerに分かれており、各Layerごとに参加している再保険会社が異なる。
1st Layer: 1億ドルから7.5億ドルまで。
2nd Layer: 7.5億ドルから15億ドルまで。
3rd Layer: 15億ドルから21億ドルまで。
なお、1st Layerのうち、70%はマーケット再保険者に出再、同再保険カバーには1億ドルの免責金額が設定されている。同免責額まではHydraがカバーする。
- 21億ドルから約87億5千万ドルまで
オーバーシビルと称し、IG全クラブメンバーで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金(オーバーシビル保険料)により賄う。
なお、オーバーシビルのうち、21億ドルから31億ドルの部分についてはマーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億ドル、船客にかかわる責任は20億ドル、船客と船員にかかわる責任は30億ドルの上限が設定されている。